

# いの流水俳壇

「当季雑詠」

特選

ゆきゆきて風は五月の万歩計

刈谷 志津選

島村かりん

〔評〕晴れた日の五月の風はすがすがしく爽快で、俳句の季語「薫風」は、南風で青葉の香りを吹き送る初夏の風を表す。「若葉風」「青葉風」等の季語もある。近頃は車社会となり歩くことがめっきり少なくなつた。健康増進のため普及しているのがウォーキングで、日課として懸命に実行している人も多数いる。五月は暑さ寒さもなく歩くには絶好の季節。心地よい風に背を押され「ゆきゆきて」歩き続けながら万歩計を見ると、驚きの歩数に嬉しさと元気がわく。五月の風と万歩計の取り合わせもよく快適で、活気の溢れた作品。

五月鯉龍になれとて天翔ける

渡邊ゆかり

〔評〕五月鯉とは「鯉のぼり」のことで、もとは五月五日の端午の節句に男子の出世を祝い、出世魚と呼ばれている鯉をかたどって高く掲げ、将来への出世の夢を託すものであった。鯉のぼりを見ると幸福感が風に泳いでいるようにも見える。「龍になれとて」の龍は竜（たつ）とも言う。龍は雲を起こし、雨を呼ぶという想像上の動物で、王者、天子のたとえとして使われる。「天翔る」とは、はるかに遠く高い空、天空を奔走（飛びまわって）物事がうまく行くように努力する）する鯉のぼりに託す親の愛情の深さ、子どものよき将来への願望と期待が、せつせつと伝わってくる。作者の豊かな発想力で龍のように強くなれと、親から子どもへ贈る切望の一句。

卯の花や乙女の頃の片思い

小野川町子

〔評〕卯の花とは、空木の花のことを言う。野山や畑の辺などに生え、初夏に白色五弁の花が10センチほどの穂をつけて開く。「乙女の頃の」うら若い少女の頃、「片思い」ひそかに思い慕っていた人がいた。それは遠い昔のことなのに、風に乗って届いた卯の花の香に、あの頃の記憶がよみがえった。今ほもう懐かしい思い

出にすぎない。片思いと言うと、私の脳裏をよこぎるのは、美空ひばりさんの唄った『みだれ髪』の一節「投げて届かぬ思いの糸が」何とも切なく悲しい。これは長い人生においては成長の過程の1コマであり、現在作者は明るく前向き、今日も思い出の卯の花に手を振り出動したのであろう。

入選

夏落葉担いで帰る竹箒

植田 紀子

野良猫の見上げてゆくや鯉幟

大川 節弥

川辺鳴くは河鹿かせせらぎか

片岡 包女

カラオケの十八番懐メロ春惜しむ

岡村 嘉夫

イタドリ煮付と酒と平和論

東谷 晴男

若草や遠出の足を投げだして

森岡 照月

仁淀川飲みとるほどに五月鯉

竹崎たかひろ

窓開けて窓一杯の轉りを

津田 久美

一句抄

川渡る連鯉のぼり吹きなびく

岡村 嘉夫

夏は来ぬ妻を亡くした男にも

東谷 晴男

雨垂れを聴きつ二度寝る夢朧

竹崎たかひろ

絵心があれば描きたし花吹雪

津田 久美

我が余生自然のままに更衣

森岡 照月

新緑や襦袢干したる日のむかし

植田 紀子

さわさわと跳ねる小魚に春が来る

片岡 包女

鯉幟のぼりや土佐の空

大川 節弥

何かにとほだけて香る春の山

小野川町子

光にも重さはありて花南天

島村かりん

蓮の葉や前奏曲を奏でたり

渡邊ゆかり

新緑の真只中を行き帰る

刈谷 志津

次題「当季雑詠」 締切/毎月1日

投句先 教育委員会事務局

いの町1700-1 ☎893-1922

## 今月のごども川柳

あいさつの 秘密道具で ハッピーに

枝川小 6年 佐野 睦

【評】元氣な朝のあいさつは1日を楽しくしてくれる言葉です。あなたの秘密の道具とは、とっておきの笑顔でしょうか？そんな笑顔のあいさつに出会えたら、みんなハッピーな気持ちになると思いませんか。素晴らしい川柳ができましたね。

ドキドキだ リレー選手に なるかな

伊野小 5年 藤田 美來

【評】スポーツが大好きで、元氣なお顔が浮かんできます。リレーの選手に選ばれたと思うあなたの気持ちが伝わってきます。私もドキドキしましたよ。

何か国 世界はひろい すごいんだ

枝川小 2年 濱田 夢芽

PKせんで ゴールにシュート うれしいな

枝川小 3年 北村 悠真

新年度 希望と夢が 勢ぞろい

伊野南小 6年 森沢 梨緒

天ならず 仁淀も泳ぐ 和紙のこい

伊野小 5年 有吉盛一郎

友だちを 見つめていたら にこにこだ

伊野小 3年 吉野 まり

おにごっこ みんな早くて にげきれず

枝川小 3年 勝賀瀬陽菜

夏鳥が 飛行機雲を 追いかける

枝川小 5年 秋澤倫太郎

こいのぼり ゆらゆら泳ぐ 空の川

枝川小 5年 森本 良太

先生の 顔が日やけで パンみたい

枝川小 6年 岡林 りほ

サブリーダー 心ゆさぶる 響きだな

枝川小 5年 西川 陽琉

「こども川柳」は町内全小の児童のみなさんを対象に募集しています。次回提出締め切りは7月10日(月)です。たくさんのおみなさんの応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします。)

※選評は、川柳連会のみなさんをお願いしています。